

日 時：令和７年９月２０日（土）

午後２時から４時まで

場 所：パルティセと マルチメディアルーム

参加者：２６名

【主なご意見、提言】

テーマ１：次期将来計画（未来を見据えたまちづくり）について

＜子育て支援・教育の充実＞

瀬戸市の教育理念の実現

子どもたちが瀬戸に住み続けたいと思える土壌づくり

子どもたちが誇れる郷土教育

新しくできる「みつば小学校」を特色ある学校にする

児童館を増やす

海外にルーツを持つ子との関わる機会の創出（多文化共生社会の実現）

地域と子どもたちをつなげる機会の創出

女性が働きやすいまち、子育て支援の充実

＜観光振興・地域資源の活用＞

瀬戸の自然（定光寺・岩屋堂など）を生かした観光 PR、

瀬戸の自然をより身近に感じられるようにする

観光資源や豊かな自然の「体験」機会を増やす

瀬戸川の美化

観光スポットから次のスポットへの周遊ができない

廃校を再利用した観光振興

市内の道路に愛称（****ロードなど）をつける

＜交通整備・まちづくり・住宅問題＞

コミュニティバスを含め、公共交通機関の充実

高齢者に優しいまちづくり

空き家の利活用

商店街の再生

掛川地域の市街化調整区域を外して、若い人の移住促進を図る

＜経済対策＞

工場誘致

ふるさと納税の PR 強化

＜防災・安全・福祉の強化＞

ローリングストックなどを各家庭任せではなく市主導で防災対策を行う

次世代のボランティア育成

テーマ2：市制施行 100 周年に向けて

＜大規模イベント・市民参加＞

100 周年記念イベントの開催（将棋大会、ランタン、ギネスに挑戦など）

瀬戸市民祭の復活

映画・ドラマの制作（「加藤民吉物語」など）

子どもが主役のプチ万博

採用されたら「100万円イベント」の募集

＜施設・街づくり＞

公園の充実、廃校の再利用

高齢者が生き生き参加できる場所づくり

小型モビリティ乗車モデル地区の設置

将棋会館の誘致

100周年モニュメント設置

温水プールの整備

＜未来志向のまちづくり・課題解決＞

次の 100 年に繋がっていくもの

「100 年ビジョン」の策定

＜地域の歴史・郷土愛の再認識＞

瀬戸の歴史本の編纂

「瀬戸市に貢献した 100 人集」の発行

市民の郷土愛を育むプロジェクト

意見交換

Q1. 瀬戸市の教育を進めていくうえで、一番大切にしたい価値観は？

A：心の教育を充実させていきたい。

人と人との付き合いが大切だと考えています。瀬戸の子どもたちには譲り合いや助け合い、自分が引っ張っていくという強い意志、強い相手に向かっていく力もつけてほしい。